

平成29年度職業訓練指導員研修実施方針

各研修の実施方針

1 新任研修

新任若しくは採用後一定期間を経過した指導員及び新任の訓練課長等のリーダーを対象として、職業能力開発の基礎、指導力向上及びリーダーに必要なマネジメントのスキルを習得します。

2 一般研修

専門的な知識や技能・技術分野に関わらず、多様化する職業能力開発業務を遂行するために必要な知識やスキルを講義や演習等を通して習得します。

3 訓練技法開発研修

職業能力開発ニーズの多様化・高度化が進展する中、職業訓練を効果的かつ効率的に実施するための訓練技法や教材開発に関する知識及び技能を習得します。

4 技能・技術実践研修

指導員の専門分野かつ専門分野を含む複合・横断的な領域における知識及び技能・技術の向上を図るとともに、その専門分野を効果的に展開する方法等を習得します。

5 テーマ別研修

専門分野に係る知識及び技能・技術の更なる習得あるいは専門領域の拡大を目指し、教材開発等の研修テーマを職業大の指導教授等と協議のうえ設定し、自らが主体的に研修を実施します。

6 実践派遣研修

多様化・高度化する職業能力開発ニーズに対応するため、指導員を企業、研究所、大学等に派遣し、企業では、コスト意識・経営的なものの見方やその実践を学び、また、研究所、大学等では、高度な技術や最先端の専門知識等を習得します。

7 オーダーメイド型研修

各都道府県等における研修受講機会の充実を図ることを目的として、都道府県等からの要請に基づき、講師を派遣して現地施設にて研修を実施します。

平成 29 年度の研修コース設定の特徴

新任研修においては、採用後一定期間を経過した指導員及び新任の訓練課長等のリーダーを対象としたコースを新たに設定しています。

一般研修においては、近年要望の多い訓練生・受講者の募集活動に関する研修、精神・発達疾患等の訓練生の対処法や就労支援に関する研修を受講しやすいよう体系化するとともに、訓練の計画・実施・管理、施設運営サポート、地域社会との連携などにおける課題解決に対応したコースも設定しています。

技能・技術実践研修では、メカトロ技術を用いたロボットの設計製作やクラウドを活用した BIM（ビルディングインフォメーションモデリング）による 3D モデリングなど新規成長分野に対応した新たなコースを設定するとともに、受講ニーズの高い溶接や建築設備などのコースを拡充しました。

なお、研修会場は、受講機会の拡大を図るため、職業大以外に地域ブロックの中核施設等を活用して研修を展開します。

また、現地施設に講師を派遣して実施するオーダーメイド型研修（前記 7）については、研修マップ（P359 参照）のとおり以下の点を考慮したコースの充実を図って参りますので、平成 28 年度同様、多数のご要望をいただきますようよろしくお願いいたします。

- ・受講者の確保が困難な場合の弾力的な運用
- ・委託訓練等の質の向上に向けた委託訓練実施機関を対象としたコース設定
- ・メール等の通信の方法を活用し、受講者ごとに個別課題を設定することにより、集合研修を 1 日 6 時間で実施する通信活用研修の実施